



オセアニアの伝統文化・歴史遺産の保存・継承をめざして

特定非営利活動法人 パシフィカ・ルネサンス
代表理事 長岡拓也

連絡先 〒634-0843 橿原市北妙法寺町 2-10
TEL: 0744-25-0121
URL: <https://www.facebook.com/PashifikaRenaissance>
<https://www.youtube.com/channel/UCnmyAfrAD0u4MpUF9jLgJag>
E-mail: pasifika.renaissance@gmail.com

戦後の急速な近代化により伝統文化が衰退した太平洋の島嶼諸国では、伝統的な知識が適切に記録されることなく失われつつあり、現地住民がアクセスできる彼らの文化や歴史に関する情報も非常に限られています。私達は、彼らが自分達の文化や歴史について学ぶことが、自民族への誇りやアイデンティティの醸成、さらには伝統に基づいた現在そして未来の文化の創造へつながると考えます。こうした社会の実現に向けて、NPO 法人パシフィカ・ルネサンスは、オセアニアの現地住民による伝統文化の復興・再生（ルネサンス）に貢献するために、文化や歴史の記録・調査・教育での活用に取り組むことを目的として、昨年9月にオセアニアの青年海外協力隊 OB・OG や研究者が中心となり設立されました。

現在、私達はミクロネシア連邦に重点を置いて活動を行っています。まず伝統的に文字を持たず、重要な情報を代々口頭伝承で受け継いできたポーンペイ州の島々において、今絶滅の危機に瀕している伝承の内容を老人からビデオカメラによって記録し、その映像をインターネット上で配信しています。これにはミクロネシアと同国総人口の3



ポーンペイ州の離島での老人からの口頭伝承の記録

分の1が出稼ぎに出ている米国から多くのアクセスを得ており、若者を中心とするミクロネシア人の関心の高さを物語っています。

またポーンペイ島の有名な巨石遺跡ナンマドールを世界遺産に登録するための技術支援を国際協力チームの一員としてミクロネシア連邦歴史保護局に対して行い、今年1月にユネスコ世界遺産センターへ正式に推薦書を提出することができました。また同国のヤップ島にある石貨遺跡の世界遺産登録へ向けて、今年5月にヤップ州歴史保護局のスタッフを対象に遺跡の調査及び記録データベース作成の講習を行いました。

さらにフェイスブックを利用して島嶼国の住民を対象に伝統文化・歴史に関する情報を定期的に発信しており、多くのファン（現在 3,600 人）を得ています。

今後、継続的な活動を行うために収益事業など財源の確立が急務となっています。大きな目標達成に向けてミッションを共有する研究者・政府機関・コミュニティなどとの協働を模索し、社会科教材の作成・海外に保管されている資料の地元への返還・文化観光の促進・伝統工芸の商品化・芸術の振興・日本との交流や友好の促進などの活動を多角的に展開していきたいと考えています。



ヤップ島の石貨遺跡での調査・記録方法の講習